

NPO 法人

小金井雑学大学

第 19 号 平成 24 年 1 月

だより

「めだかの学校」と「雀の学校」

NPO 法人小金井雑学大学学長 長坂 寛

明けましておめでとうござい
ます。

皆様お健やかに迎春された
事とお慶び申しあげます。

年頭に当たり、本大学の設立
趣旨にある「生涯学習」に関連
する言葉を紹介し、生涯学習の
意義を再確認したいと思いま
す。

禅の言葉に「啐啄(そつたく)」
があります。その意味するとこ
ろは、「鶏卵が孵化しようとし
る時、殻の内ではひなが鳴き母鶏
が外から殻を噛むこと」で「機
を得て両者が相応すること」す
なわち、教える側と教わる側の
双方の気持ちが一致してこそ効
果があがることを示唆していま
す。

その際、先生と生徒の役割(立

場には、次の二通りがあると言
われています。

唱歌「めだかの学校」の二番の
歌詞には、「めだかの学校のめ
だか達、だれが生徒か先生か、
皆で元気に遊んでいる」といい、
唱歌「雀の学校」の歌詞には、

「雀の学校の先生は、むちを振
り振り チイパッパ、生徒の雀は
輪になって、お口をそろえて チ
イパッパ」という箇所がありま
す。「めだか」は、「だれが生徒
か先生か」が定かではなく、「雀」
は、「生徒と先生」がはっきり
と定まっている事に注目して下
さい。

そこで生涯学習を標榜してい
る本学としては、「啐啄」を目指
すために、「めだかの学校」と「雀
の学校」の長所をとり入れなが

ら独自の「小金井雑学大学」方
式を模索して運営していきたい
と考えています。皆様の積極的
なご参画を期待しています。



14 周年記念講演のお知らせ
「世界水競争の時代を生き抜く
～狙われる日本の水資源～」

有本 香氏 (ジャーナリスト)

3 月 18 日(日) 2 時～3 時 15 分

会場は萌え木ホール(商工会館 3 階)です。

どうぞ、お楽しみに

発見的学習

横田 至明

(TAMA塾塾長)



第306回講義 7月3日

青少年のための科学の祭典」ではお世話になりありがとうございます。ございました。祭典に私の見つけた「3角形が包む多面体の世界」を持ち込んだのは、参加者に再発見する機会と材料を提供したいと考えたからです。

「発見的学習」を英語で heuristics(ヒューリスティック)と言いますが、この言葉はアルキメデスの原理発見にまつわるものと私はみています。実際、黄金の冠の真贋鑑定を依頼された彼は、考えあぐねて浴場に向かい

ました。満々と湯を湛えた浴槽に身を沈めていくうち溢れ出す湯を見て閃いたのです。「解けた！」うれしさのあまり彼は裸で街へとび出しました。そして叫んだ言葉が、エウレカ(エウレカ)！エウレカ(エウレカ)！／見つけた！見つけた！でした。

さて、第1ステップは3種類の3角形(鋭角、直角、鈍角3角形)を合同な3角形(同素という)の4面体に折ること。鋭角3角形は各辺の中点を結ぶ線で折る例が出ている。直角、鈍角3角形は同じ方法では不可能。これで同素4面体を構成できるのは鋭角3角形のみと解り、改めて直角、鈍角3角形を鋭角3角形の同素4面体に折る方法を見つけ出す課題と解る。(第1ステップ、ちよつとむずかしかったですよ(うか))

人前で話すときの心構え

金子 恭子

(ディーベル代表)



第308回講義 8月7日

「思いを言葉に！」人は、なかなか思っていることを言葉にして伝えることができない。そこには上がってしまう、口下手、人との会話が苦手・・・など、いろいろな理由がある。

しかし、言葉にしなければ伝わらない。どんなに良い考えや温かい心を持っていても、口に出して伝えなければ、相手には分からない。発信しましょう！

8月7日雑学では、「第一印象は大事。明るく、元気に、笑顔を添えて！」と黒板に書いた上

で、皆さんに挨拶をして頂きました。この言葉に関わらない「非言語」は、前述した部分と相反するかも知れないが、口にしなくても伝わる大きな部分である。表情や態度の方が相手に伝わり、発した言葉よりも影響を及ぼすこともある。どんな声で話すかも大きな部分である。相手に聞こえなければ意味がなく、声もまた相手に影響力を与えるからだ。

相手に伝えたいと思ったら、好印象で話せる土台を作り、相手が分かるように、相手に聴いてもらえるように、相手を尊重して話すこと。

相手、相手と強調したが、話した内容を受け取り、理解してもらったためには、相手本位であることが大切である。



小金井雑学大学との縁

高樋 信也

(自然観察会幹事)



第 309 回講義 8 月 21 日

会社を退職し、これからの人生いかにあるべきかと考え、先ず身近な小金井市の事を知らなければならぬと思ひ立ち、今迄ほとんど読まなかつた「市報」をすみからすみまで読む事にした。そして「小金井自然観察会」や万葉集を読む会の「茜会」がある事を知り、ほとんど同時に入会した。もう20年も前の事である。

万葉集には鳥や草木や虫が沢山詠み込まれていて、それらを観察会で正確に知る事が出来て、万葉人の歌心に驚いた。よくよく考えてみれば、現代人の我々より万葉人の方が自然の中で生きていた事を思えば当然な事かもしれない。それにひかれて万葉集に詠まれている鳥や草木の写真を撮り歌とセットにして万葉人の心を味わえないかと試みた。それがある程度まとまったところで、「茜会」の忘年会で発表して、歌が分かりやすいと好評だった。この事が「茜会」の幹事から五十嵐さんのお耳に入り「雑学大学でやってくれないか」とのお話で、お引き受けしたのが御縁で今日に至っている。

雑学大学の教壇に立ったのが動機となり、万葉集にのめり込む。万葉集は単なる歌集ではなく、歴史書が語らない古代史に登場する人物の時折々の心と語る歴史書である事を知る。上は天皇から下は名も無い庶民まで、万葉人の心をどの様に伝えるか、その教材を作るのに夢中になっている今日この頃です。雑学大学との御縁に深く感謝しております。

インターネットで

楽しくコミュニケーション

水越 浩幸

(有限会社ミズコシ代表取締役)



第 310 回講義 9 月 4 日

私が代表を務める有限会社ミズコシは大正十年創業の印刷会社で、もうすぐで百年企業となります。ここ数年は印刷以外にも、ビジネスメールのセミナー、研修を行ったり、ソーシャルメディアの活用についての講演など、インターネット関連のビジネスが増えてきております。

また、インターネットで情報を発信し続けてきたことにより、同文館出版より「ビジネスで好印象を与えるメールの7つの決

まりごと」を出版したり、私のUSPREAMI 番組で、憧れだった「なんでも鑑定団」でおなじみのおもちゃの鑑定士・北原照久さんとの対談が実現するなど、いくつもの夢が実現しました。

これらは今までの人との繋がりでだけや従来の仕事の環境だけでは決して実現できていなかったでしょう。インターネットメディアを活用することにより、様々な人との人脈が広がり、そしてビジネスが加速、夢が実現してきました。今後はインターネットを活用する方としない方との差が、ますます大きくなっていくでしょう。

今回の雑学大学でお話しさせていただいたことにより、一人でも多くの方にインターネットやソーシャルメディアの素晴らしさを知っていただけたなら大変うれしく思います。

こだわり

和田 烈

(松蔭大学経営文化学部准教授)



第 311 回講義 9 月 18 日

先日「旅・料理そしてお酒」を話し終わった後、質問を受けました。なんで「酒」ではなく、「お酒」なんですか？と。その時は「酒」なんです。なんとなく感じ、ユアンスですよ。なんとなく感じが違うでしょ。と答えましたが、その後ずつと気になっていました。「料理」には「お」を決して付けないのに「お酒」には「お」を必ず付けているのは、私の「お酒」に対する「こだわり」ではないかと気がつきました。何か一つに「こだわり」を持つことは、そのことに関心を持ち、もつと調べてみよう、という

気持ちになります。

私がお酒に「こだわり」を持ったのは、酒どころ広島に赴任したのがきっかけです。昔東京の滝野川にあった醸造試験場が広島に移転(現名称:酒類総合研究所)し、毎年全国新酒鑑評会が開催され、日本全国から出品された新酒を審査し、入賞作品を発表しています。(2022年度は875点が出品され、入賞437点、金賞244点)その後懇親会が開催されます。その余興として啀き酒コンテストが行われます。杜氏や蔵元を除くゲストが参加、その中にはホテルのソムリエや料亭の女将もいます。私も遊びで参加しましたが、5点全部当ててしまいました。そして日本酒に興味を持ち、翌年「啀き酒師」の資格試験を受け、58歳で合格しました。以来、国内や海外に旅行するるとき、必ずその土地の料理とお酒

を楽しんでいます。小金井雑学大学の皆様も、ぜひ何かに「こだわり」を持って、それを他人の前で語って頂ければ、もつと人生が楽しくなると思います。



小金井雑学大学理事紹介



長坂 寛



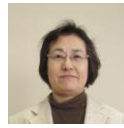
中村 正勝



須知 正度



橋爪 文彦



五十嵐京子



田中留美子



成瀬 傳



成瀬 和美

雑学大学の運営はボランティアにより行っております。運営のお手伝いして下さる方は講義の時に声をかけください。
理事の仕事には、カリキュラム担当(教授への講義依頼)、広報担当(ポスター、カリキュラムの作成・郵送・配布など)、当日担当(会場設定、資料準備、受付など)と会計担当(年会費・資料代の受付、年度会計報告)などがあります。

編集後記

今回は今年度の5人の教授に寄稿をお願いし、雑学大学らしいさまざまなジャンルの原稿をいただきました。
教授の皆様お忙しいところありがとうございました。
田中留美子 記

発行責任者 五十嵐 京子